

患者の皆様へ

2019年9月
放射線診断科

現在、放射線診断科では、PET 検査に関する研究を行っています。今後の診療に役立てることを目的に、この研究では PET 検査を受けられた患者さんの診療情報を利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究題目

FDG スキャン注小包装（111MBq, 148MBq）有効利用に関する研究

2. 研究の意義・目的

FDG スキャン注の投与量の精度をより高める方法を開発します。

3. 研究の方法

2019年9月～2021年3月までに、通常の納品日時より早く納品された FDG スキャン注小包装が投与された患者さんの体重と投与量を記録して、体重あたりの投与量がより適正化されているか調べます。これまでも、FDG スキャン注の用量の範囲内(74～370MBq)で安全に投与されていますが、患者さん毎の投与量の精度をより高めるための研究を行います。

4. 個人情報の取り扱いについて

この研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、医療法人明和病院 明和がんセンタークリニック放射線診断科の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

FDG スキャン注：PET 検査に必要な放射性医薬品の名称です。

MBq（メガベクレル）：放射性医薬品の放射能の量を表す単位です。

研究実施機関：医療法人明和病院 明和がんセンタークリニック

本件のお問合せ先：放射線診断科部長 河 相吉

TEL: 0798-81-4552 (代表)